

地球温暖化問題に 本気のとりくみを



環境悪化につながる、ごみ焼却処分ではCO₂排出の問題があります。2050年CO₂排出ゼロ、「パリ協定」は、2030年に産業革命以降の気温上昇1.5度未満を目標にしています。加古川市総合計画(案)には「SDGs」を掲げました

が、あと9年間で本市の地球温暖化問題への取り組みを質しました。

3月発表の市の地球温暖化対策地方公共団体実行計画では2030年までに2013年度比26%削減としましたが、具体的な数値を市民に知らせる必要があります。

PCR検査体制の拡充と ワクチン接種をすみやかに



市内医療機関・高齢者施設の職員へのPCR検査、自治体独自に無症状感染者の早期発見の取り組みと無料でPCR検査「社会的検査」

とワクチン接種の状況を質しました。

答弁では、無症状の方が網羅的なPCR検査を無償で受けられる仕組みは必要でない。としました。65才以上の高齢者への接種券の配布を行うコールセンターを設置する。「広報かこがわ」により数カ月にわたり特集ページで案内する予定(表面、新型コロナワクチン接種情報参照)。

学校に公用車が無い 「安上がり行政」の問題



市内、小中学校に公用車が一台もありません。教員の私用車を「校務(公用)に転用」している問題を質しました。

答弁では、「公用車の購入及び維持管理に係る経費を勘案したうえで、費用対効果の面から公用車を配備しておりません」とありました。

経費節減のために「公務に私用車を使う」市政の問題点と、現在、学校等で職員駐車場の有料化へ検討を進める問題です。

市の安上がり行政と、更なる教員負担過重の矛盾が明らかになりました。

困っている人に優しい市政をめざして

3月議会
一般質問から

新型コロナで困っている 市民を支える市政に

—生活保護の扶養照会廃止を—

市民の声から「新型コロナ禍で勤め先の中小企業にシワ寄せがきて、非正規社員から7時間労働で月15万円が保障されていたが、3時間労働にカットとなり、生活できなくなった、助けて下さい。」

コロナ禍で「補償なき休業」「シフト制」でダブルワークや泣き寝入りを余儀なくされたり事例が頻発しています。生活保護は恥じゃない「権利」、生活保護を利用できることを知らせてほしい。扶養照会など水際作戦をやめると迫りました。

■日本の扶養義務の範囲は広すぎる

	続柄	ドイツ	フランス	スウェーデン	イギリス	日本
	配偶者	○	○	○	○	○
1親等	子(未成年)	○	○	○	○	○
	子(成人)	○				○
	親	○				○
2親等	兄弟姉妹					○
	祖父母、孫					○
3親等	曾祖父母、曾孫					○
	おじおば、甥姪					△※

※ダミーです。出展が入ります。 ※家裁が認めた場合

核兵器廃絶に向けた発信を

—浜の宮駅の核兵器廃絶宣言標柱の再建を—



浜の宮駅、標柱の記録写真

市民から浜の宮駅にあった「核兵器廃絶宣言都市標柱」再建してほしいと要望書が提出されていることに対し、市は何故再建しないのか質し、再建を求めました。

今年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。しかし、日本政府は署名も批准も核抑止力を盾に拒否しています。

世界の122か国が賛同する核兵器禁止条約です。被爆国としての行動が問われます。

広域ごみ処理施設の 工事費負担増について

—黒塗り資料はおかしい—



委員会資料の黒塗り

加古川市が60%負担する「広域ごみ処理工場」建設に係る電気工事で、新たな負担金としての約3,000万円の根拠資料について、工事概要の欄が黒塗りで表示されています。

情報公開は本市の方針と矛盾していることについて質しました。

市の答弁では、「高砂市の書類で、お答えする立場にない」としました。

※この発端は「高砂市議会の広域ごみ処理施設対策特別委員会資料で9ページにわたる黒塗り資料があることが判明」したことによる。

令和3年度 第3回 加古川市議会(定例会)日程(案)

議案は市HPにも掲載されます。議会・委員会は9:30開会予定です。

6/11(金)	全議案上程(質疑、付託) 一般質問	第1日	16(水)	一般質問	第3日	21(月)	建設経済常任委員会
14(月)	一般質問	第2日	17(木)	総務教育常任委員会		28(月)	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案上程(即決)
			18(金)	福祉環境常任委員会			第4日

[請願の締切は6月1日(火)です]